



宇城市長 阿曾田 清

みんなの力で「ごみゼロ」に

最近、宇城市ではマイバッグの取り組みが盛んになってきています。

市内のあるスーパーでは、レジ袋1枚につき2円の有料化を始めた。レジ袋の売り上げは商品の値下げという形で消費者に還元されています。

別のスーパーでは、レジ袋1枚が1円。その売り上げは、小学校に寄附される予定だそうです。

また、「買い物袋スタンプカード」を発行し押印20回で100円引きなど、マイバッグの普及に努めているスーパーもあります。

これらは、環境への負担を減らすための企業の具体的な取り組みであります。

ではその他にも、行政区を挙げて取り組んでおられる萩尾区、母子会や各婦人会などが独自のマイバッグを作っておられ、私も寄贈を受けました。

市としても独自のマイバッグをと思い、県下トップの生姜の産地（海東地区）であることを生かし、生姜の茎葉を活用した生地が出来ないかを京都芸織維大学と連携して研究しているところ。今年の生姜出荷後に茎葉を原料として作りたいと思っています。

一方、段ボール箱を使った生ごみの堆肥化を推進中の行政区や、生ごみ処理器を使って有機物利用している家庭もあります。

宇城市では、コンテナによる資源ごみの分別収集が19年4月より全地区で実施され、現在、廃油（食用油）のリサイクルを推進中です。今後は廃プラスチックの収集などを行なう予定です。また次年度に向けて生ごみのリサイクルも研究中です。

環境循環型都市を目指す市として、リデュース（減らす）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化）の3Rを進めて行こうと考えており、生ごみの

分別収集を21年度中に開始し、市民みんなの力で可燃ごみの大幅削減を図って参ります。

また、大量に物が氾濫する社会の中で、特に子ども世代を対象に「もつたない」の心を育てる教育は何よりも大切であります。これまで「もつたない」を実践してきた高齢者がその知識と経験をもとに、子や孫へ「もつたない」の心を育む教育を実践してほしいものです。

目指すは「ごみゼロ」宣言。2010年には出したいですね。



※平成20年8月の市長談話は1日金の予定です。参加ご希望の方は、総合政策課（☎32-1111）へ7月18日（金）までお申し込みください。

市民レポートの目

西港ロケ風景

瑞穂 その



小泉八雲の「夏の日の夢」という紀行文に出てくる場所として有名な三角西港。オランダ人、ムルドルの設計で造られた港で明治時代の三大築港の一つです。

石積埠頭（ふとう）がそのまま残っているのは、ここ三角西港だけだそうです。平成14年に国の重要文化財に指定され、今でも異国情緒豊かな雰囲気を残しています。

この西港を横浜港という設定で、NHK大作ドラマ「坂の上の雲」の撮影が5月28、29日に行われました。

約200人の地元エキストラ、英国海軍士官や着飾った外国人女性も行き来し、西港一帯は明治時代にタイムスリップした感じでした。

風格ある高橋は清役の西田敏行さん。主人公の秋山真之役の本木雅弘さん、正岡子規役の香川照之さんが横浜港を



浦島屋での撮影シーン

訪れ、住民役のエキストラの人たちと、雨の合間を縫って軍艦を見送るシーンが撮影されています。

エキストラの中には九州大学の留学生も士官役で参加していました。私がインタビューした3人は1年間の留学で、今年8月にはそれぞれフランス、ドイツへ帰るそうです。日本の政治、文化、歴史を勉強しているようで、流ちょうな日本語で話してくれました。それぞれ母国に帰った後も日本に関する仕事をしたという話も聞きました。

地元の参加者だけでなく、北九州、福岡の「劇団ひまわり」、熊本市内、天草などからの参加者もあり、エキストラ



留学生たちもロケに参加

ラの多さ、船からの撮影もあるなど、国内では最大級のロケ風景に圧倒されました。このドラマは明治維新後の時代を生きた四国松山出身の3人の男たち―日露戦争で活躍した秋山好古、その弟、日本海軍の参謀、秋山真之兄弟と文学の世界に巨大な足跡を遺した正岡子規―を中心に物語が繰り広げられ、来秋から三年間で三部全十三回が放送されます。西港ロケの分は第一部に登場。

地元の一人として今から放送を楽しみにしています。そのためにも早速原作本を買って読んでみるといいです。

ティモシー・ニーベ先生の

日本つれづれ日記



ニュージーランドの学校のシステム

私は1985年から2005年までの21年間、ニュージーランドの学校に通いました。3歳の時に幼稚園に通い始め、そこでアルファベットを学んだり、ゲームをしたりして過ごしました。一日3時間だけだという事を除けば、日本の幼稚園のシステムと似ています。

そして5歳で卒園し、カトリックの小学校に入学しました。公立の学校には宗教の学校がないため私立の小学校でした。私は小学校で外国語を習わなかったため日本の小学生は英語を習う機会があつて羨ましいです。学校は午前9時から午後3時まで、放課後のクラブ活動がなく、みんなすぐに家に帰ります。日本の小学生はクラブ活動で頑張っていますよね。私は学校が終わってから、ピアノ、ヴァイオリン、空手を習いに行っていました。

11歳の時、中学校に入学し

ました。中学校は2年間です。放課後のクラブ活動はありませんが、練習は週に1〜2回です。私は学校のクラブ活動はせず、ピアノとヴァイオリンを続けました。学校は午前9時から午後3時までです。卒業試験はありません。高校までは義務教育なのです。日本の中学校は、ニュージーランドより勉強が難しく忙しいそうです。

13歳で、高校に進学しました。高校は5年間で、大学進学へ向けて勉強が難しくなります。3、4、5年の時に大きな試験を受けました。最後の試験は大学進学を決める試験でも難しくかったです。1990年代始めに、多くの中国人、韓国人がニュージーランドに移住しました。そのため、私のクラスは3分の1が中国人と韓国人でした。彼らは賢く、がんばり屋だったので競争が激しくなりました。ニュージーランドは小さい

な国なので大学は多くありません。望む大学へ行きたくれば高校で一生懸命勉強しなければいけないのです。

高校ではクリケットクラブとサッカークラブに入っていました。週に1回練習し土曜日に試合をしていました。日本の高校生はもっと練習していますよね。だからオリンピックで日本はニュージーランドよりいい成績なのでしょう。18歳で試験を受け2000年に大学に入学しました。私のコースは6年間で、2005年に卒業しました。大学は

のんびりしていたので高校よりも楽しめました。私はサッカークラブに所属し、社会活動にも参加しました。

日本と比べニュージーランドの学校のシステムにはもつとゆとりがあると思います。学生たちにはもつと自由な時間があります。ただ、望む大学へ行きたいなら一生懸命勉強しなければならぬのは日本と同じです。日本の学生は勉強に対する姿勢が素晴らしいですね。いつかニュージーランドに来てくださいますか！

「岩手・宮城内陸地震災害義援金」にご協力ください！

6月14日朝、発生した岩手・宮城内陸地震は、震度6強（マグニチュード7.2）という、阪神・淡路大地震にも匹敵する強いものでした。被災地はまだ余震が繰り返されるなど、予断を許さない状況にあるようです。

犠牲になられました皆さまのご冥福と被災地の一日も早い復旧を心からお祈りいたします。

宇城市では「岩手・宮城内陸地震」の被害に対して、義援金を受け付けています。皆さまの温かいご協力をお願いします。

- ・受付期間 7月1日（火）から7月31日（木）まで
・受付場所 本庁・支所・サテライトプラザ（イオンモール宇城内）の各施設に義援金募金箱を設置しています。

☎ 総務課 ☎ 32-1111